



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
 コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 財務本部長 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2536
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	138,916	△6.6	5,381	△60.4	2,895	△74.8	935	△85.7
2019年3月期	148,688	2.1	13,596	12.6	11,497	7.7	6,548	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期 △2,013百万円(-%) 2019年3月期 5,203百万円(△28.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	8.87	8.87	1.4	1.8	3.9
2019年3月期	61.76	61.75	9.8	7.2	9.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △416百万円 2019年3月期 △67百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	161,721	64,659	39.0	600.03
2019年3月期	160,288	71,148	43.1	651.11

(参考) 自己資本 2020年3月期 63,100百万円 2019年3月期 69,037百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	7,636	△6,806	2,303	15,784
2019年3月期	14,511	△6,667	△7,797	12,935

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	2,544	38.9	3.8
2020年3月期	—	14.00	—	10.00	24.00	2,523	270.7	3.8
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

次年度の見通しにつきましては、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に与える影響について、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後の動向によりますが、2021年3月期第1四半期の決算発表時に開示する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	108,130,842株	2019年3月期	108,105,842株
2020年3月期	2,969,179株	2019年3月期	2,074,411株
2020年3月期	105,496,203株	2019年3月期	106,023,948株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	45,817	△0.3	1,531	△40.5	4,735	△20.9	6,346	—
2019年3月期	45,976	2.4	2,572	208.2	5,988	81.2	△1,399	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	60.15		60.15					
2019年3月期	△13.20		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	113,923		54,355		47.7	516.32		
2019年3月期	121,738		52,039		42.7	490.35		

(参考) 自己資本 2020年3月期 54,296百万円 2019年3月期 51,992百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期における経済環境は、米国経済は好調な消費により底堅く推移しているものの、長期化する米中貿易摩擦や中国経済の成長鈍化、英国のEU離脱等の影響を受け、世界経済は減速基調で推移しました。

加えて、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、世界各地で実施されたロックダウンの影響を強く受け、また日本国内においても移動自粛等による影響がありました。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、持続的な企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、ICT自動化施工のOEM向け販売減や、中国・アジアにおけるインフラ需要の回復遅れの影響、また第4四半期での新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、138,916百万円（前年度と比べ△6.6%の減少）となりました。

利益面では、この売上高の減少や研究開発費等の先行投資、為替の影響等により、営業利益は5,381百万円の利益（前年度と比べ△60.4%の減少）となり、経常利益は2,895百万円（前年度と比べ△74.8%の減少）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は935百万円（前年度と比べ△85.7%の減少）となりました。

(事業セグメント毎の営業成績)

スマートインフラ事業では、米中貿易摩擦や総選挙による需要回復遅れに伴い、中国・アジアを中心に販売が減少したのに加え、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けました。また、第3四半期まで堅調に推移していた国内では、新型コロナウイルス感染防止のため移動自粛が広がる状況下、顧客の需要対応と売上確保に努め一定の成果による改善があったものの、売上高は対前年度減収となる33,398百万円（前年度と比べ△9.1%の減少）となりました。営業利益は、経費低減による改善があったものの売上高減少の影響が響き、5,027百万円の利益（前年度と比べ△21.4%の減少）となりました。

ポジショニング・カンパニーでは、ICT自動化施工のOEM向け販売が減少した一方、アフターマーケット向け販売は堅調に推移しましたが、一番の繁忙期である第4四半期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が直撃し、欧米を中心に営業活動や出荷業務に大きな制約を受けました。この厳しい事業環境下、稼働を止められない建設や農業顧客への製品・サービス提供を最優先に需要対応に努めたものの対前年度では減収となり、売上高は73,989百万円（前年度と比べ△4.8%の減少）となりました。営業利益は、売上が減速する中、販管費の削減に取り組みましたが、研究開発費の先行投資等もあり4,537百万円の利益（前年度と比べ△45.7%の減少）となりました。

アイケア事業では、主にスクリーニングビジネス及び急成長する中国市場の販売強化のため先行投資を行い、順調に販売が拡大しておりましたが、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、注力市場の中国で旧正月以降のロックダウンにより事業活動が滞り、それに続き世界各国でも医療機関への営業活動や納品が困難となり、また眼鏡店においても世界的な需要減退と一時的な投資先送りが生じるなど事業機会が急速に縮小しました。この影響により、売上高は44,758百万円（前年度と比べ△6.2%の減少）となりました。営業利益は、売上減少による影響に加え、為替影響やスクリーニングビジネス及び中国事業拡大の先行投資等もあり136百万円の利益（前年度と比べ△95.3%の減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産

当年度末の資産は、前年度末に比べ1,433百万円増加し、161,721百万円となりました。

a. 流動資産

主に、「売上債権」の減少等があったものの、「現金及び預金」や「たな卸資産」の増加等により、前年度末に比べ2,374百万円増加し、98,528百万円となりました。

b. 固定資産

主に、「有形固定資産」の増加等があったものの、「無形固定資産」「投資有価証券」の減少等により、前年度末に比べ941百万円減少し、63,192百万円となりました。

負債

当年度末の負債は、前年度末に比べ7,922百万円増加し、97,062百万円となりました。

a. 流動負債

主に、「短期借入金」及び「1年内償還予定の社債」の増加等により、前年度末に比べ24,006百万円増加し、68,366百万円となりました。

b. 固定負債

主に、「長期借入金」及び「社債」の減少等により、前年度末に比べ16,083百万円減少し、28,695百万円となりました。

純資産

当年度末の純資産合計は、「利益剰余金」や「自己株式」、「為替換算調整勘定」の減少等により、前年度末に比べ6,489百万円減少し、64,659百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、たな卸資産の増加や固定資産、自己株式の取得等による「資金」の減少等があったものの、売上債権の減少や短期借入金の増加等による「資金」の増加により、前年度末に比べ、2,848百万円増加し、15,784百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当年度における営業活動による「資金」の増加は、7,636百万円（前年度は14,511百万円の増加）となりました。これは主に、たな卸資産の増加等による「資金」の減少があったものの、税金等調整前当期純利益、及び売上債権の減少等による「資金」の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当年度における投資活動による「資金」の減少は、6,806百万円（前年度は6,667百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による「資金」の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当年度における財務活動による「資金」の増加は、2,303百万円（前年度は7,797百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済や自己株式の取得、配当金の支払い等があったものの、短期借入金の増加等による「資金」の増加によるものであります。

(4) 今後の見通し

次年度の見通しにつきましては、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に与える影響について、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後の動向によりませんが、2021年3月期第1四半期の決算発表時に開示する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性の維持のため、現時点では日本基準を適用することとしております。今後につきましては、グループ内における会計手続き方針の統一を進めるとともに、国際財務報告基準（IFRS）の会計基準改定の動向を勘案して、当社グループの経営管理に適した会計基準を選択したいと考えております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,894	16,134
受取手形及び売掛金	45,609	40,631
商品及び製品	18,509	21,063
仕掛品	1,377	1,510
原材料及び貯蔵品	11,254	13,188
その他	7,608	8,555
貸倒引当金	△2,098	△2,555
流動資産合計	96,154	98,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,085	7,651
機械装置及び運搬具（純額）	2,455	2,938
土地	2,813	3,100
建設仮勘定	525	1,374
その他（純額）	4,070	5,673
有形固定資産合計	16,950	20,738
無形固定資産		
のれん	13,162	10,856
ソフトウェア	10,122	10,821
その他	9,130	7,004
無形固定資産合計	32,415	28,683
投資その他の資産		
投資有価証券	3,961	2,301
長期貸付金	419	695
繰延税金資産	9,272	9,679
その他	1,144	1,108
貸倒引当金	△30	△15
投資その他の資産合計	14,767	13,770
固定資産合計	64,133	63,192
資産合計	160,288	161,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,990	12,981
短期借入金	13,563	26,831
リース債務	641	1,260
未払費用	9,829	8,655
未払法人税等	1,420	1,159
製品保証引当金	1,069	1,124
1年内償還予定の社債	—	10,000
その他	5,846	6,353
流動負債合計	44,360	68,366
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	10,497	4,397
リース債務	3,853	4,883
繰延税金負債	2,622	2,388
役員退職慰労引当金	57	44
退職給付に係る負債	6,391	5,263
その他	1,356	1,718
固定負債合計	44,779	28,695
負債合計	89,139	97,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,658	16,680
資本剰余金	20,819	20,630
利益剰余金	37,595	35,749
自己株式	△2,091	△3,170
株主資本合計	72,981	69,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879	434
繰延ヘッジ損益	5	△47
為替換算調整勘定	△3,776	△6,278
退職給付に係る調整累計額	△1,051	△897
その他の包括利益累計額合計	△3,943	△6,788
新株予約権	47	58
非支配株主持分	2,063	1,499
純資産合計	71,148	64,659
負債純資産合計	160,288	161,721

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	148,688	138,916
売上原価	70,173	66,283
売上総利益	78,515	72,632
販売費及び一般管理費	64,918	67,251
営業利益	13,596	5,381
営業外収益		
受取利息	165	182
受取配当金	65	67
その他	361	226
営業外収益合計	592	476
営業外費用		
支払利息	1,041	915
持分法による投資損失	67	416
為替差損	501	531
その他	1,081	1,099
営業外費用合計	2,692	2,962
経常利益	11,497	2,895
特別利益		
投資有価証券売却益	—	572
債務消滅益	148	—
特別利益合計	148	572
特別損失		
子会社株式売却損	—	554
関係会社清算損	827	—
減損損失	2,772	—
固定資産除却損	497	—
特別退職金	254	—
関係会社退職給付制度終了損	294	—
無償修理費用	522	—
特別損失合計	5,167	554
税金等調整前当期純利益	6,478	2,912
法人税、住民税及び事業税	2,611	2,293
法人税等調整額	△1,783	△252
法人税等合計	827	2,041
当期純利益	5,650	871
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△897	△64
親会社株主に帰属する当期純利益	6,548	935

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	5,650	871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△878	△444
繰延ヘッジ損益	12	△52
為替換算調整勘定	247	△2,516
退職給付に係る調整額	176	154
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△25
その他の包括利益合計	△446	△2,884
包括利益	5,203	△2,013
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,242	△1,910
非支配株主に係る包括利益	△1,038	△103

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株予 約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	16,638	20,799	33,464	△2,090	68,811	1,757	△7	△4,158	△1,228	△3,637	29	3,133	68,336
会計方針の変更による累積的影響額			△83		△83							△75	△159
会計方針の変更を反映した当期首残高	16,638	20,799	33,380	△2,090	68,727	1,757	△7	△4,158	△1,228	△3,637	29	3,057	68,176
当期変動額													
剰余金の配当			△2,332		△2,332								△2,332
親会社株主に帰属する当期純利益			6,548		6,548								6,548
自己株式の取得				△0	△0								△0
在外関係会社の支配継続子会社に対する持分変動													
その他	19	19	△0		38								38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△878	12	382	176	△305	17	△993	△1,282
当期変動額合計	19	19	4,214	△0	4,253	△878	12	382	176	△305	17	△993	2,971
当期末残高	16,658	20,819	37,595	△2,091	72,981	879	5	△3,776	△1,051	△3,943	47	2,063	71,148

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株予 約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	16,658	20,819	37,595	△2,091	72,981	879	5	△3,776	△1,051	△3,943	47	2,063	71,148
会計方針の変更による累積的影響額			△36		△36								△36
会計方針の変更を反映した当期首残高	16,658	20,819	37,558	△2,091	72,944	879	5	△3,776	△1,051	△3,943	47	2,063	71,112
当期変動額													
剰余金の配当			△2,744		△2,744								△2,744
親会社株主に帰属する当期純利益			935		935								935
自己株式の取得				△1,079	△1,079								△1,079
在外関係会社の支配継続子会社に対する持分変動		△211			△211								△211
その他	22	22			44								44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△444	△52	△2,502	154	△2,845	11	△564	△3,397
当期変動額合計	22	△189	△1,809	△1,079	△3,055	△444	△52	△2,502	154	△2,845	11	△564	△6,453
当期末残高	16,680	20,630	35,749	△3,170	69,889	434	△47	△6,278	△897	△6,788	58	1,499	64,659

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,478	2,912
減価償却費	5,983	6,757
のれん償却額	2,145	1,999
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	66	502
受取利息及び受取配当金	△231	△249
支払利息	1,041	915
有形固定資産除却損	21	14
持分法による投資損益 (△は益)	67	416
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△572
債務消滅益	△148	—
子会社株式売却損益 (△は益)	—	554
関係会社清算損益 (△は益)	827	—
減損損失	2,772	—
固定資産除却損	497	—
特別退職金	254	—
関係会社退職給付制度終了損	294	—
無償修理費用	522	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	242	63
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	87	△1,057
売上債権の増減額 (△は増加)	△359	3,212
たな卸資産の増減額 (△は増加)	449	△5,181
前払費用の増減額 (△は増加)	63	238
仕入債務の増減額 (△は減少)	△572	1,269
未払費用の増減額 (△は減少)	1,368	△680
その他	△3,815	△299
小計	18,056	10,816
利息及び配当金の受取額	296	276
利息の支払額	△1,041	△915
特別退職金の支払額	△150	—
法人税等の支払額	△2,648	△2,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,511	7,636

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△591	△57
定期預金の払戻による収入	1,295	619
有形固定資産の取得による支出	△3,363	△4,954
有形固定資産の売却による収入	65	108
無形固定資産の取得による支出	△2,376	△3,371
投資有価証券の取得による支出	△102	△330
投資有価証券の売却による収入	1	1,228
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,604	—
事業譲渡による収入	253	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	79	246
長期貸付けによる支出	△220	△234
長期貸付金の回収による収入	6	9
その他	△109	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,667	△6,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,284	10,359
長期借入金の返済による支出	△6,979	△2,751
自己株式の取得による支出	△0	△1,079
配当金の支払額	△2,332	△2,744
非支配株主への配当金の支払額	△88	△54
リース債務の返済による支出	△680	△1,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,797	2,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	189	△285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	236	2,848
現金及び現金同等物の期首残高	12,698	12,935
現金及び現金同等物の期末残高	12,935	15,784

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これによりIFRS適用子会社においては、リースの借手は、原則として全てのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとなりました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この取扱いにより、当連結会計年度末において、「有形固定資産」が2,241百万円増加し、流動負債の「リース債務」が599百万円、固定負債の「リース債務」が1,627百万円、それぞれ増加しております。また、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品及びサービスにより分類された単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業展開を行っております。

従って、当社は、その構成単位である「スマートインフラ事業」「ポジショニング・カンパニー」「アイケア事業」及び「その他」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントで製造・販売している主要製品は、以下の通りとなります。

「スマートインフラ事業」

トータルステーション(自動追尾トータルステーション、モータードライブトータルステーション、マニュアルトータルステーション、工業計測用トータルステーション、イメージングステーション)、レイアウトナビゲーター、MILLIMETER GPS、3D移動体計測システム、3Dレーザースキャナー、データコレクタ、セオドライト、電子レベル、レベル、ローテーティングレーザー、パイプレーザー

「ポジショニング・カンパニー」

測量用GNSS(GPS+GLONASS+GALILEO等)受信機、GNSSリファレンスステーションシステム、土木施工用マシンコントロールシステム、精密農業用マシンコントロールシステム、農業向け計量システム、アセットマネジメントシステム、土木施工・精密農業システム向けディスプレイ

「アイケア事業」

3次元眼底像撮影装置、眼底カメラ、無散瞳眼底カメラ、眼科用レーザ光凝固装置、ノンコンタクトタイプトノメーター、スリットランプ、手術用顕微鏡、スペキュラーマイクロスコープ、光学式眼軸長測定装置、眼科検査データファイリングシステムIMAGEnet、眼科電子カルテシステムIMAGEnet eカルテ、ウェーブフロントアナライザー、オートレフラクトメータ、オートケラトレフラクトメータ、オートケラトレフラクトトノメーター、視力検査装置、屈折検査システム、視力表、レンズメーター、スクリーノスコープ、デジタルPDメーター、検眼レンズセット

なお、スマートインフラ事業とポジショニング・カンパニーは、事業関連性が高く、対象とする顧客も類似しております。そのため、スマートインフラ事業とポジショニング・カンパニーは、双方のカンパニーの製品の販売を行っており、スマートインフラ事業は主に日本及びアジアの各地域で、ポジショニング・カンパニーは主に北米、及びヨーロッパの各地域で、販売活動を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却・全社費用配分前)ベースの数値であります。

報告セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	スマートインフラ事業	ポジショニング・カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,857	72,698	47,434	1,697	148,688	—	148,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,886	5,023	278	0	15,190	△15,190	—
計	36,744	77,722	47,713	1,698	163,878	△15,190	148,688
セグメント利益又はセグメント損失(△)	6,393	8,358	2,896	△65	17,583	△3,986	13,596
セグメント資産	42,331	55,893	48,231	2,398	148,855	11,433	160,288
その他の項目							
減価償却費	700	2,582	1,367	81	4,732	1,250	5,983
持分法適用会社への投資額	35	574	175	35	819	—	819
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	563	3,341	1,033	63	5,002	736	5,739

(注) 1. 「その他」の区分は、精密計測事業及び光デバイス事業であります。

2. セグメント利益の調整額△3,986百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

3. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去と全社資産の額であります。全社資産の主なもの、のれん13,162百万円、親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)3,580百万円であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	スマートインフラ事業	ポジショニング・カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,335	68,771	44,489	1,318	138,916	—	138,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,062	5,218	269	0	14,549	△14,549	—
計	33,398	73,989	44,758	1,319	153,466	△14,549	138,916
セグメント利益又はセグメント損失(△)	5,027	4,537	136	△144	9,557	△4,175	5,381
セグメント資産	38,666	63,369	48,210	2,210	152,457	9,263	161,721
その他の項目							
減価償却費	776	3,147	1,385	120	5,430	1,327	6,757
持分法適用会社への投資額	33	258	150	33	475	—	475
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,114	4,332	1,824	272	8,543	271	8,814

(注) 1. 「その他」の区分は、精密計測事業及び光デバイス事業であります。

2. セグメント利益の調整額△4,175百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

3. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去と全社資産の額であります。全社資産の主なもの、のれん10,856百万円、親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)3,268百万円であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
33,389	44,565	36,361	7,483	15,901	10,986	148,688

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
7,417	4,248	4,544	203	510	26	16,950

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
30,038	42,711	34,439	6,889	12,906	11,930	138,916

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
8,778	4,636	6,407	341	553	21	20,738

c. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

のれんの償却額2,145百万円及び未償却残高13,162百万円は、報告セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

のれんの償却額1,999百万円及び未償却残高10,856百万円は、報告セグメントに配分しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	651円11銭	600円03銭
1株当たり当期純利益	61円76銭	8円87銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	61円75銭	8円87銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,548	935
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	6,548	935
普通株式の期中平均株式数(株)	106,023,948	105,496,203
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	18,396	14,603
(うち新株予約権(株))	(18,396)	(14,603)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。